

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

| | |
|----------|---|
| 調査研究期間 | 委託を受けた日 ~ 平成30年3月16日 |
| 調査研究事項 | <p>委託研究 ></p> <p>エ．外国籍の者に関すること</p> <p>オ．その他既存の夜間中学における教育機会の提供拡充に資すること</p> |
| 調査研究のねらい | <p>【横浜市立蒔田中学校】</p> <p>年齢層、国籍、就学年数が様々に異なる生徒たちが集まる傾向がある。そのほとんどが日本語を母語としていないという現状があり、そのため、入級後は、各教科の学習目標に加えて日本語の習得が課題となる。また就学年数によって、特に数学と英語において、習熟度に差が見られ、個々の日本語力も多様であるため、生徒一人ひとりに適した日本語教材および数学・英語教材や指導方法を検討し、夜間学級における効果的な学習指導を研究する必要がある。本研究により、魅力ある学習指導をすることによって、門戸が開かれ、より多くの外国人就学希望者に教育の機会を提供することをねらいとする。</p> |
| 調査研究の成果 | <p>横浜市内の夜間学級が蒔田中学校に統合され、4年目を迎えた。昨年度から、夜間学級専任教諭に理科の教員が配置され、また理科、社会の非常勤講師の時間数も増加された。それにより国語、数学、英語で昨年度まで実施していた少人数指導、習熟度別指導が社会、理科でも実施され、各教科大変効果的に行うことができた。その結果、日本語の習得に励む生徒や苦手教科を克服しようとする生徒、得意教科の力を大きく伸ばす生徒が増えるなど、大きな学習成果が得られた。</p> <p>また、生徒のほとんどが外国籍のまたは外国につながる生徒である本校において、専任教諭とは別に、4年前より中国語と英語の学習支援サポーターが配置されている。来日間もない生徒にとって、学習支援サポーターが生徒の学習を支援していることより、各教科における学習への理解は深まり、職員とコミュニケーションがとれる安心感も生まれ、その教育的効果は大きい。</p> <p>学校行事や実技教科をはじめとする学習活動では、多様な活動を行うことができ、生徒の意欲も向上した。その反面で、日本語の習得が不十分な生徒もあり、学習進度や理解の遅れが懸念されて</p> |

いる。このような状況を、どのように克服していくが今後の課題である。引き続き、学習支援サポーターを中心として、外国籍生徒の学習環境の整備を進め、外国籍の方にとって入級しやすい環境を整えていくことが、夜間中学においての広く教育機会の提供拡充につながっていくものとする。